

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/8 （3/1との比較） 今後の見通し （※4）	3/8 （3/1との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.77% （▲0.17）	82.86円 （▲1.60%）	+1.6% 2018年4Q	1.75%	政策金利は市場予想通り維持され、発表された雇用統計の雇用者数は市場予想を上回る結果。OECD（経済協力開発機構）の世界経済見通しが下方修正される中、国債利回りは低下。カナダドルは対円で下落。	製造業売上高や中古住宅販売件数などが発表予定。中銀が慎重な姿勢を継続するとの見方もあり、景気指標や原油価格の動向を見極める環境である中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.20% （▲0.03）	28.76円 （▲2.93%）	+1.1% 2018年4Q	6.50%	発表されたPMI（購買担当者景気指数）は、前回は上回る内容。年金制度改革を巡る動きが注目され、世界の景気先行きに不透明感が高まる中、レアルは対円で下落。国債利回りは低下。	鉱工業生産や小売売上高などが発表予定。年金制度改革に伴う財政再建を巡る動向も注目される中、足元の景気動向も見極める環境となり、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を予想。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	8.00% （▲0.00）	5.70円 （▲1.80%）	+1.7% 2018年4Q	8.25%	発表された消費者信頼感指数が市場予想を上回る内容で、製造業PMIも高水準となる結果。ロペスオブラドール大統領は、格付け会社の活動を制限しないことに言及。メキシコペソは対円で下落。国債利回りは横ばい。	鉱工業生産や雇用関連統計などが発表予定。国営石油会社支援による財政への影響も注目される中、大統領の支持率は高水準を保っており、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/8 （3/1との比較）	3/8 （3/1との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.03% （▲0.12）	78.33円 （▲1.07%）	+2.3% 2018年3Q	1.50%	政策金利が維持される中、中銀は経済成長への期待感を示唆。貿易収支は市場予想を上回る一方で、小売売上高は市場予想を下回る結果。世界の景気先行きに不透明感が台頭する中、豪ドルは対円で下落。国債利回りは低下。	企業景況感や企業信頼感、消費者信頼感指数などが発表予定。世界の景気先行きへの不透明感が台頭するものの、主要中銀の流動性供給が下支えとなり、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.07% （▲0.11）	75.62円 （▲0.62%）	+2.6% 2018年3Q	1.75%	発表された商品価格や住宅価格は前回比強めの結果となる一方、製造業活動指数は前回比弱めの結果。中銀は、政策委員会に財務次官のオブザーバー出席を発表。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	貿易収支やCPI（消費者物価指数）などが発表予定。世界の景気先行きへの不透明感が台頭する中、中銀のハト派姿勢も材料視される可能性があり、ニュージーランドドルは売られやすい環境にあると予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.61% （▲0.15）	12.69円 （▲2.69%）	+1.7% 2018年4Q	0.75%	発表された経常収支、鉱工業生産は前回より悪化もしくは鈍化。ECB（欧州中央銀行）理事会を経て、世界的な景気減速懸念などが材料となる中、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	CPIやPPI（生産者物価指数）、貿易収支などが発表予定で、比較的堅調な内容が示されると想定。主要中銀のハト派姿勢が同国の金融政策へ影響を与える可能性に注意。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/8 （3/1との比較）	3/8 （3/1との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.82% （▲0.04）	7.70円 （▲2.11%）	+1.1% 2018年4Q	6.75%	発表されたGDP（国内総生産）は市場予想を上回る内容。経常赤字が前回比で縮小する一方で、企業景況感は前回比で悪化する結果。ランドは対円で下落。国債利回りは低下。	鉱物生産量や製造業生産などが発表予定。国内景気に弱さが見られることから、足元の経済指標には要注目。その他には注目材料が少ないことから、債券・為替市場はともに動きにくく、レンジ内での推移を想定。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.56% （+0.05）	0.78円 （▲1.46%）	+5.2% 2018年4Q	6.00%	発表された消費者信頼感指数が前回比でやや下落する一方、外貨準備高が前回比増加。ECB理事会を経て、世界的な景気減速懸念などが材料となる中、ルピアは対円で下落。国債利回りは上昇。	貿易収支や国内自動車販売などが発表予定。オーストラリアとのCEPA（包括的経済連携協定）の効果が期待されるが、世界的な景気減速懸念が台頭しやすい局面では、ルピアは上値が重くなるものと想定。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	7.03% （▲0.02）	1.58円 （+0.43%）	+6.6% 2018年4Q	6.25%	発表されたサービス部門のPMIは前回より改善。トランプ大統領がインドを一般特恵関税制度から除外する意向であることやパキスタンとの紛争などが材料視される中、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	CPIや鉱工業生産、貿易収支などが発表予定。下院選挙の投票が4月11日より始まることから、政治の先行きを見極める状況であるため、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

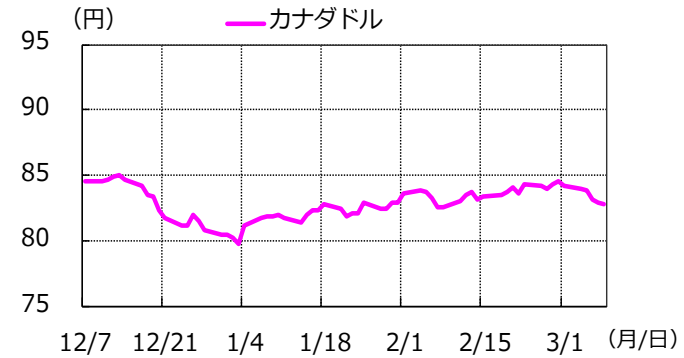
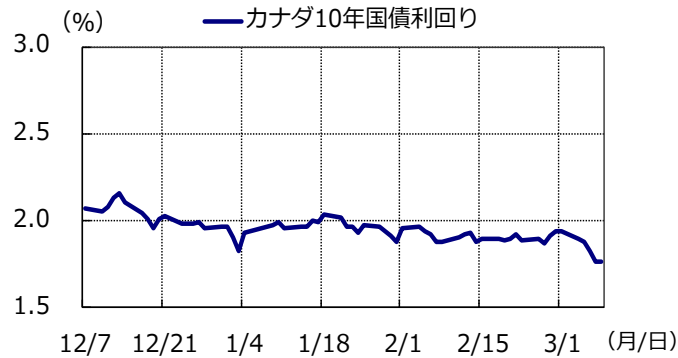
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

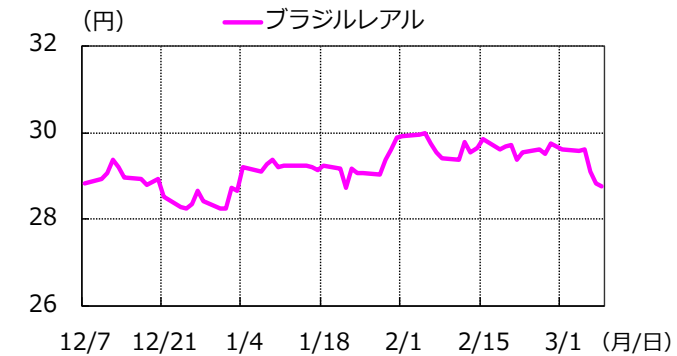
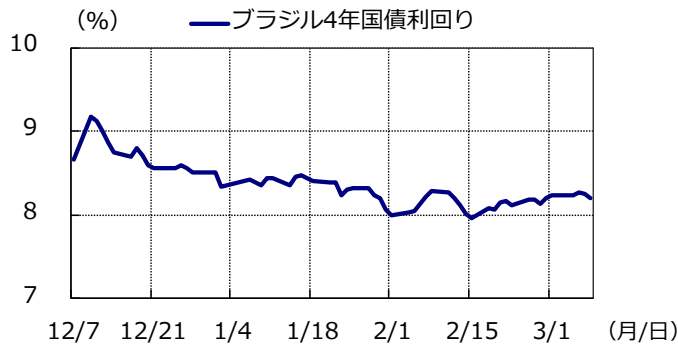
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/12/7～2019/3/8

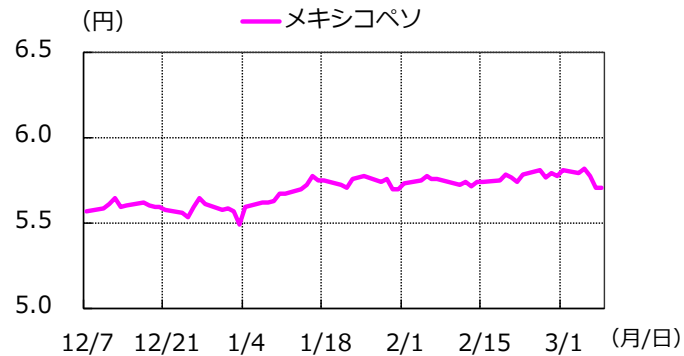
カナダ



ブラジル



メキシコ

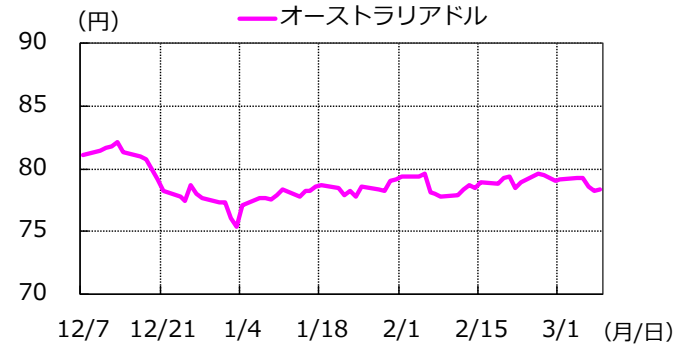
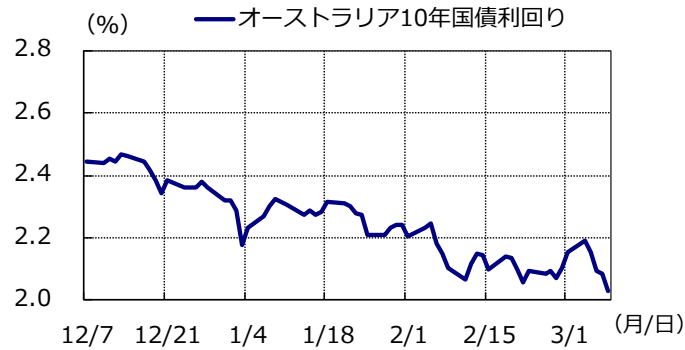


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

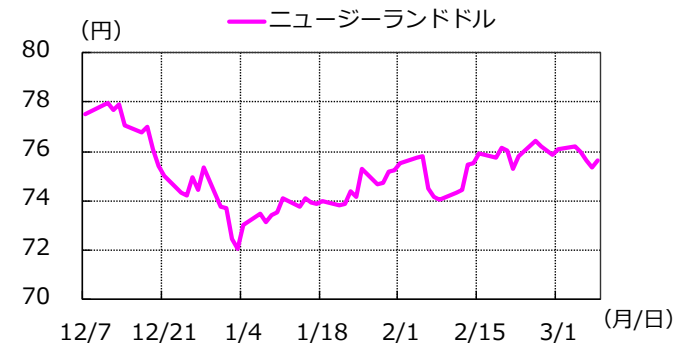
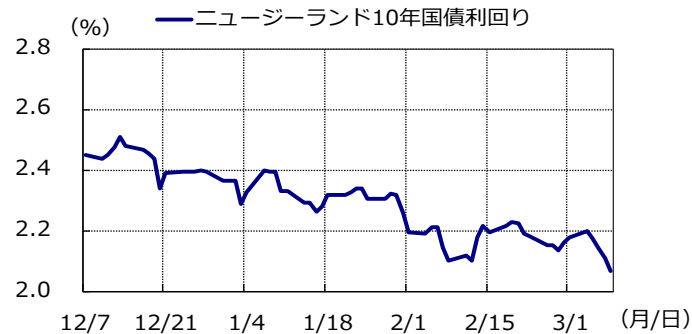
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/12/7～2019/3/8

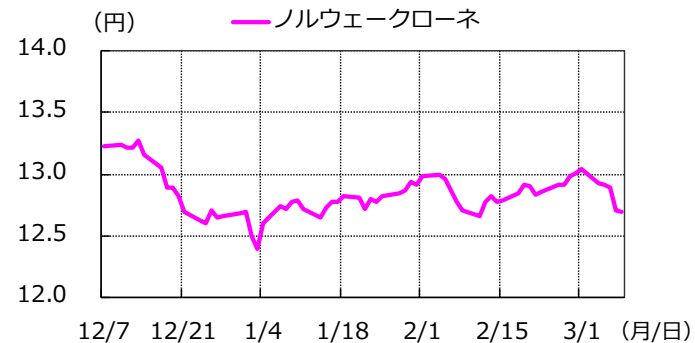
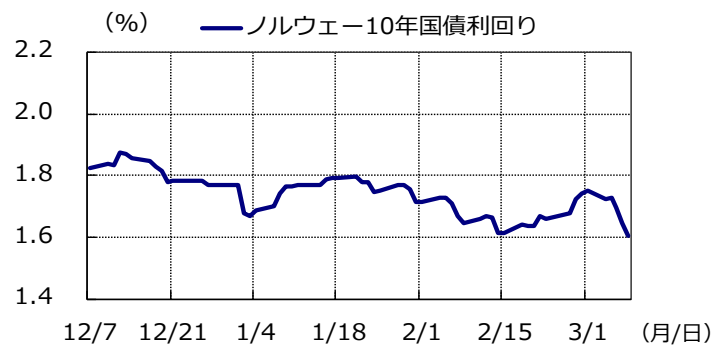
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

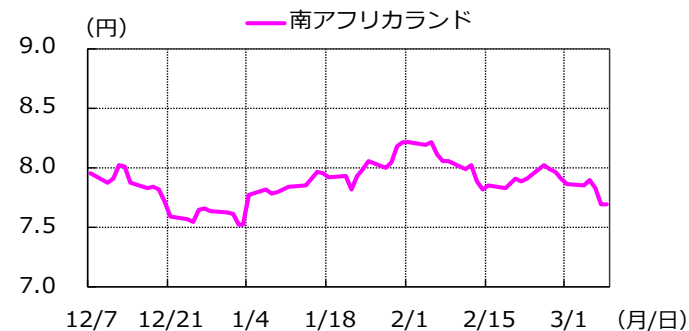


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

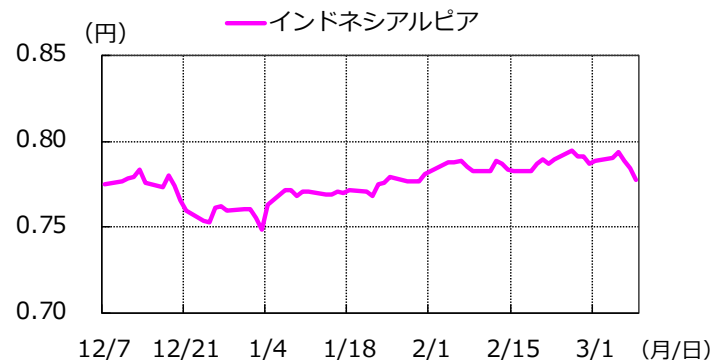
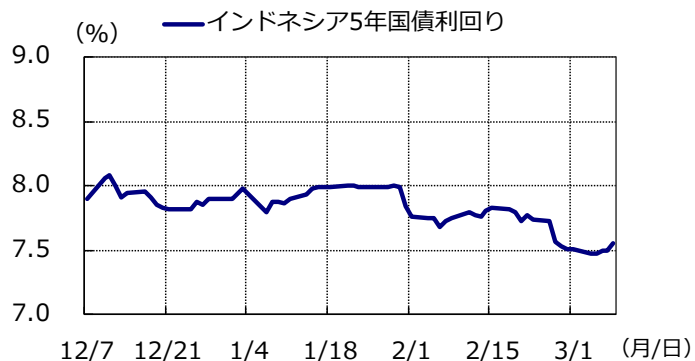
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/12/7～2019/3/8

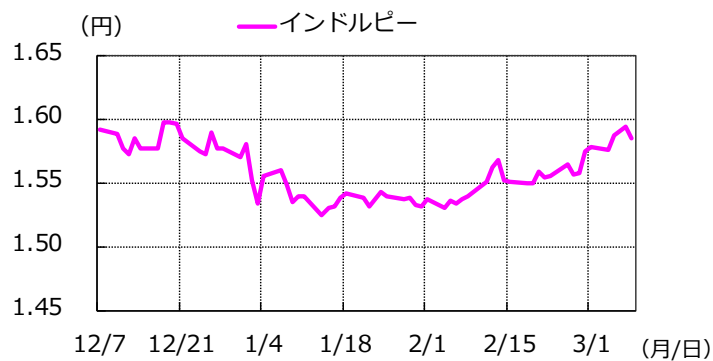
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。